

平成 2 6 年 第 3 回 定 例 市 議 会

*
*
*
*
*
*
*
*
*

行 政 報 告

北 海 道 恵 庭 市

第3回定例会が開催されるにあたりまして、第2回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

まず冒頭に、先日の「平成26年8月豪雨」により、広島市北部における大規模土砂災害及び礼文町における土砂災害でお亡くなりになりました方々に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された多くの皆様にお見舞い申し上げます。

改めて、災害の恐ろしさと日頃からの防災の大切さを痛感し、本市における防災体制の充実を誓うものであります。

恵庭市防災会議の
開催について

はじめに、恵庭市防災会議の開催について申し上げます。

恵庭市防災会議を去る8月29日に開催し、災害対策基本法の改正に伴う国の防災基本計画及び北海道の地域防災計画等の修正を踏まえた恵庭市地域防災計画及び水防計画の修正について、委員の皆様にご審議いただきました。

今後も、様々な災害に備えるため、防災会議を組織する関係機関と連携しながら、災害に強いまちづくりを進めて参ります。

自衛隊の体制維持・強化について

次に、自衛隊の体制維持・強化について申し上げます。

現在、国において防衛計画の大綱や中期防衛力整備計画に基づき、新たな防衛体制の構築を図っておりますが、市といたしましては、本市に所在する3駐屯地の体制維持・強化が図られるよう、8月5日に市議会議長とともに防衛省や国会議員などに対し要望を行いました。

また、8月25日には自衛隊の体制維持・強化を求める恵庭市民の会による要望活動を行い、さらに27日には北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会による中央要望へも参加いたしました。

今後も国の動向を注視しながら、引き続き自衛隊の体制維持・強化に取り組んで参ります。

人事評価制度の導入について

次に、人事評価制度の導入について申し上げます。

本年5月に地方公務員法が改正され、職員がその職務を遂行するにあたり発揮した能力及び挙げた業績を把握した上で行われる人事評価制度を導入し、これを任用、給与、分限その他の人事管理の基礎とすることが規定されました。

こうした動きに合わせ、本市としても更なる職員の能力向上を目指して本制度を導入することとし、先般、全職員を対象とした人事評価制度の説明会を7月に15回開催し、また8月11日と12日には、管理職員を対象とした業務目標の設定や部下との面談等についての評価者研修を実施いたしました。

人事評価制度は、職員一人ひとりが業務目標を設定し達成する過程を通じ、組織としての課題解決力を向上させ、職員のやる気を引き出し、意識や行動を変えていく人材育成が目的であり、今年度は10月から3月まで制度を試行し、平成27年度から本実施する予定であります。

第5期恵庭市総合計画の策定について

次に、第5期恵庭市総合計画の策定について申し上げます。

策定作業につきましては、数多くの市民参加のもと進めているところであり、業種ごとや地域別、あるいは公募の市民委員によるワークショップなど、計17回におよぶ市民による議論の場を設けることにより進めて参りました。

今回策定する総合計画は、人口減という社会状況のもとで作る初めての計画となり、人と人とのつながりやコミュニティ、あるいは観光といったソフト面を重視した議論も活発になされました。

また、先日、北海道大学公共政策大学院の特任教授を講師として開催した「総合計画策定シンポジウム」においては、地方を取り巻く環境や今後のまちづくりに必要な視点は何かといったことを、多くの市民の皆様にご覧に知っていただいたところであります。

今後は、来年1月の総合計画策定審議会への諮問に向けて、これらの市民意識などを参考にしながら、基本構想の原案づくりを進めて参ります。

姉妹都市ティマル市からの市長訪問団について

次に、姉妹都市ティマル市からの市長訪問団について申し上げます。
6月28日から7月4日まで、ニュージーランドのティマル市より、デイモン・オデイ市長以下9名の訪問団が姉妹都市交流のため恵庭市を来訪し、本市の教育環境や経済活動などを精力的に視察されるとともに、本市、商工会議所及びニュージーランド協会などと親交を深めたところであります。

これに合わせて、両市とも地震国にあることから、大規模自然災害発生時などにおける協力関係を促進するため、災害時相互応援に関する覚書を7月1日に締結いたしました。

今後、両市の間で、災害への予防や災害発生時の情報交換、相互応援などについて協力するとともに、様々な分野でより一層の親善交流を深めて参ります。

恵み野駅西口土地区画整理事業について

次に、恵み野駅西口土地区画整理事業について申し上げます。
工事については既に完了しており、宅地は8月末時点で総販売区画数135区画に対し、既に75区画が販売済みと順調に推移していると伺っております。

また、商業施設の集積地区であります「フレスポ恵み野」につきましても、第2期工区では家電量販店が年内にも営業を開始する予定であり、さらには第1期工区でもスーパーやホームセンターの立地が決まり、来年夏前頃の開店を目指し、先月28日に起工式が執り行われたところがあります。

市民の広場について

次に、市民の広場について申し上げます。

今年度の「市民の広場」につきましては、生活環境の改善に関する要望は別途対応することとし、将来の恵庭のまちづくりについての市民との意見交換の場として、7月に市内8地区7か所において実施し、市民131名、市職員104名の合計235名が参加いたしました。

今後、「市民の広場」でいただいたご意見は、第5期恵庭市総合計画に反映させて参りたいと考えております。

(仮称)市民活動センター設置に向けた取組みについて

次に、(仮称)市民活動センター設置に向けた取組みについて申し上げます。

昨年5月に検討委員会よりご提言いただいた内容に基づき、設立準備会においてセンターの役割、機能等について必要な検討を行ってまいりましたが、その検討結果を踏まえ、センターの運営主体となる運営協議会を設立するため、(仮称)恵庭市市民活動センター運営協議会設立発起人会を8月20日に設置したところであり、今後、センターの事業計画などについて具体的に検討して参ります。

いけませ夏フェス2014 in えにわについて

次に、いけませ夏フェス2014 in えにわについて申し上げます。

障がいの有無にかかわらず、誰にとっても居心地のよい場所をつくっていきたいという理念に基づき、8月9日・10日の1泊2日で恵庭市総合体育館を主会場として開催し、市内外から障がいのある子やその家族、イベントを運営する多くのボランティアなど、合計1,275人にご参加いただきました。

当日は天候にも恵まれ、参加者はゲームやレクリエーション、ミニ運動会、打上げ花火などを楽しみ、それぞれ心に残る思い出となったことと思います。また、ボランティアとして参加いただいた方には、障がいのある方とふれ合う機会を通じ、障がいに対する理解促進に寄与できた

ものと考えております。

社会福祉法人恵庭
光風会の施設整備
について

次に、社会福祉法人恵庭光風会の施設整備について申し上げます。

市内において、入所施設をはじめ多くの障がい者支援事業を実施しております社会福祉法人恵庭光風会が、来年度の多機能型事業所開設を目指し、現在、施設整備を行っております。

施設整備の財源につきましては、国庫・道費の補助金を活用するほか、市に対しても財政支援の要請がありましたことから、事業の公益性や雇用創出による地域経済振興などを考慮し、ふるさと融資の制度を活用した財政支援を行うよう検討しているところであり、別途、このための補正予算案を提案いたしますので、よろしくご審議下さいますようお願い申し上げます。

すいとう
水痘及び成人用(高
齢者)肺炎球菌ワク
チンの定期接種化
について

次に、水痘及び成人用（高齢者）肺炎球菌ワクチンの定期接種化について申し上げます。

予防接種法に基づく定期の予防接種として、水痘及び成人用（高齢者）肺炎球菌ワクチン接種を10月1日から実施することといたしました。

本市では平成24年6月から、任意の接種として75歳以上の方を対象に高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業を実施しておりますが、今年度末まで助成期間を延長し、定期接種と任意接種の両方の予防接種に対応して参ります。

実施にあたりましては、恵庭市医師会のご協力のもと、円滑に接種を行うとともに、接種対象者に対する周知を徹底して参ります。

なお、別途、このための補正予算案を提案いたしますので、よろしくご審議下さいますようお願い申し上げます。

子ども・子育て支援

次に、子ども・子育て支援事業計画の策定について申し上げます。

事業計画の策定について

国においては、教育・保育等のニーズ量の集計において0歳児の実態と大きな乖離が見られたところであり、新たに示された補正率に基づき本市のニーズ量を再計算し、現在、施策確保の方策を協議しておりますが、その中で、教育・保育等のニーズ量の確保について一定の目途が立ったところでもあります。

また、子ども・子育て支援新制度の円滑な推進を図るため、保育の必要性及び放課後児童健全育成事業の設備・運営に関する基準等を定めることが必要なことから、別途、条例案を提案いたしますので、よろしくご審議下さいますようお願い申し上げます。

えにわっこ応援タクシー事業について

次に、えにわっこ応援タクシー事業について申し上げます。

市内タクシー事業者4社と協働して、18歳以下の子どもがいる家庭に対し、乳幼児連れの外出サポート、病院等への送迎など、子育て家庭が安心して気軽に外出しやすくするよう、今月1日から「えにわっこ応援タクシー事業」をスタートいたしました。

対象となるタクシーにはステッカーが貼られており、今後、さらなる市民周知に努めて参ります。

なのはな保育園民営化に係る事業者選定委員会の設置について

次に、なのはな保育園民営化に係る事業者選定委員会の設置について申し上げます。

なのはな保育園は、平成23年4月から5年間、公設民営方式により運営しておりますが、平成28年4月からの運営事業者について、来年3月までに決定することとなっております。

このため、恵庭市立保育所民営化に係る事業者選定委員会を設置し、今後、運営事業者の選定を行って参ります。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

本年は、春先の降雨不足や6月の長雨、8月の台風11号接近に伴う強風によって、生育期間中に大豆、小豆等の倒伏が一部確認されたものの、気温や日照時間が平年以上だったこともあり、農作物の生育状況は概ね順調に推移しております。

近年、栽培面積が増えている小麦につきましては、収穫作業が無事終了し、品質的にはやや良好と聞いております。

次に、土地改良事業の進捗状況であります。国営恵庭北島土地改良事業（農業用排水）が計画確定に向けた法手続きに着手し、また、道営経営体育成基盤整備事業（穂栄・林田地区西5線幹線排水路整備事業）につきましては、今年度の完成に向け、順調に工事が進んでおります。

さらに、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業を活用して実施する恵庭北島地区の西3線幹線排水路整備事業は、今月で実施設計が完了し、11月には一部工事に着手する見込みとなっております。

雇用対策について

次に、雇用対策について申し上げます。

道内の景況は、全体的に持ち直し傾向が続いており、雇用情勢も穏やかに改善するなど回復基調にあり、7月末の恵庭・千歳管内における有効求人倍率は0.69で、前年同月に比べ上向しているものの、全道に比べ依然として厳しい状況にあります。

このため、7月には若年求職者対策として、来春卒業予定の高校生を対象とした「高校生就職支援セミナー」を開催し、29名の参加がありました。また、国の緊急雇用対策事業を活用した「若年求職者就職支援事業」につきましては、8月に19名の未就職者を雇用し、現在、本事業の就業支援カリキュラムに従って学んでおります。さらに今月、企業の人事担当者と求職者による座談会を開催し、企業側の採用方法や人材育成について生の声を聞く機会を設けたところであります。

このような事業の集大成として、10月には市内企業を中心に合同企

業就職説明会の開催を予定しており、今後も、引き続き求職者の就業支援対策を講じて参ります。

観光振興について

次に、観光振興について申し上げます。

まず、夏のイベントの取組状況であります。「恵庭花とくらし展」と「えにわマルシェ」を6月28日から2日間、道と川の駅「花ロードえにわ」において開催し、両日で約2万人を上回る来場者があったところであり、さらに、夏の夜空を彩る納涼花火大会や地域の特色を活かした様々な夏のイベントが6月から8月にかけて市内各所で開催され、いずれも多くの人出で賑わいをみせたところでもあります。

また、恵庭市の新たな観光資源の発掘や磨き上げを通じた観光地づくりなどの検討を行うため、昨年11月に有識者や観光事業者、関係団体など25名の委員で構成する「恵庭の観光を考える会」を設置しご検討いただき、多くのご意見を取りまとめた結果として、8月28日に「提言書」を市に提出いただいたところでもあります。

今後、ご提言いただいた内容を、市として新たに策定する観光振興計画に反映して参りたいと考えております。

以上、はなはだ簡単ですが第2回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、今議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。